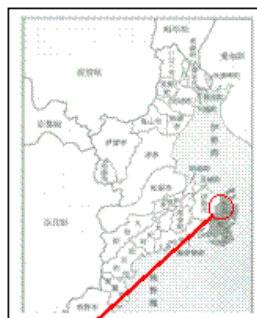


## 再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

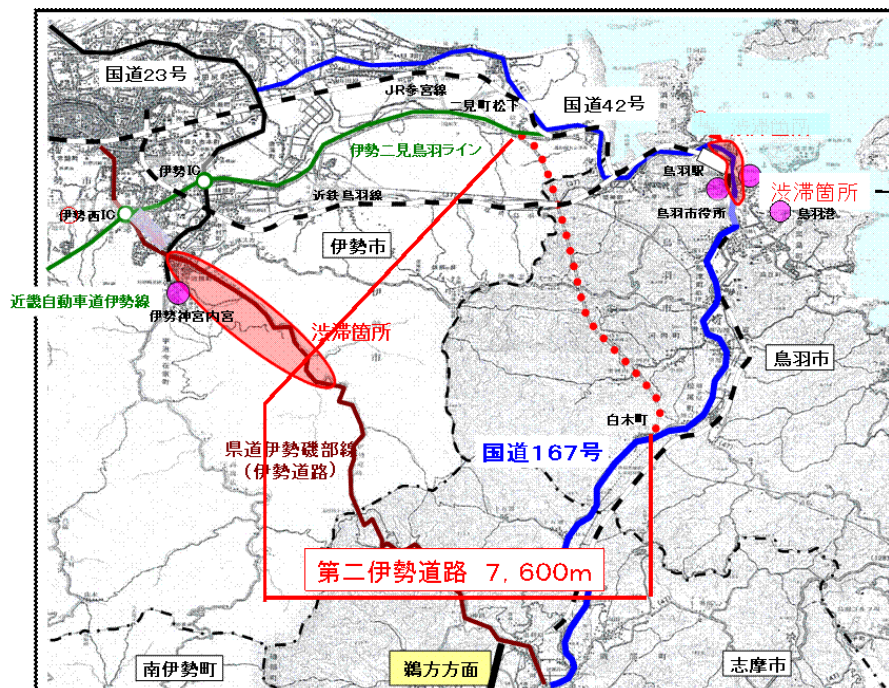
担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

<b>事業名</b> 地域高規格道路 伊勢志摩連絡道路 一般国道167号 第二伊勢道路	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	三重県
<b>起終点</b> 自：三重県鳥羽市白木町 至：三重県伊勢市二見町 松下				<b>延長</b> 7.6km
<b>事業概要</b> 一般国道167号は、三重県志摩市を起点として三重県伊勢市に至る延長約27kmの幹線道路である。 本事業の一般国道167号第二伊勢道路は、三重県鳥羽市白木町から伊勢市二見町松下に到る延長7.6kmのバイパスであり、伊勢地域と志摩地域とを結ぶ道路の渋滞解消と地域間の連携強化を目的として事業を推進している。				
<b>H8年度事業化</b>		<b>H10年度用地着手</b>		<b>H11年度工事着手</b>
<b>全体事業費</b> 315億円		<b>事業進捗率</b> 87%		<b>供用済延長</b> 0km
<b>計画交通量</b> 13,800台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 2.2 (残事業) 20.3	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 40/371億円 (事業費：37/368億円) 維持管理費：3/3億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 811/811億円 (走行時間短縮便益：640/640億円) (走行経費減少便益：130/130億円) (交通事故減少便益：41/41億円)	<b>基準年</b> 平成24年
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.9~2.8(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=17.2~25.9(交通量±10%) 事業費：B/C=2.2~2.2(事業費±10%) 事業費：B/C=19.8~24.1(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.2~2.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=20.2~20.2(事業期間±20%)				
<b>事業の効果等</b> ・国道167号、県道伊勢磯部線の渋滞の解消。 ・国道167号、県道伊勢磯部線の安全で円滑な交通の確保。 ・緊急輸送道路として災害復旧活動に貢献する。 ・観光地（伊勢志摩国立公園）へのアクセス向上による観光支援が期待されている。				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 近畿自動車道伊勢線と観光リゾート地域の伊勢志摩の各拠点との連絡を強化する道路として、第二伊勢道路を早期完成するよう強く要望されている。				
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を了承する。				
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 伊勢市と志摩地域を結ぶ主要な道路である一般国道167号と県道伊勢磯部線は、休日や観光シーズンに鳥羽市街地と宇治浦田交差点部における渋滞が続いており、当該事業の必要性に変化はない。				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 事業進捗率は87%、用地取得率は100%				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 引き続き工事を進め、平成25年度の神宮式年遷宮にあわせた供用を目指す。				
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 橋梁整備において、少数主桁の採用による建設コストの縮減や、耐候性鋼材の使用による維持管理コストの縮減を図っている。				
<b>対応方針</b> 事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。				

事業概要図



事業箇所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。